互助会活動
Notice

職員旅行


岡山 美観地区


大阪 あべのハルカス

毎年恒例、互助会での職員旅行です。
今回、日帰り組は「大阪」に、宿泊組は「岡山」に行きました。
仕事中ではなかなか接点のない人とも親睦を図れました。

ソフトボール部



貴志川リハビリテーション病院のソフトボール部です。
私たちはレクリエーションの一環で多職種混合にて練習し、大会にも出場しています。
去年の秋には、数年ぶりにチーム目標であった紀北地区病院協会の大会で優勝することができました！！
ソフトボール部は三車会スタッフが楽しみながら交流することを意識して取り組んでいます。

Access
アクセス



公共交通機関でお越しになられる方

- 紀の川コミュニティバス「丸栖北」下車すぐ
- JR 和歌山線船戸駅よりタクシーで 5 分（徒歩約 20 分）
- 紀の川市地域巡回バス「巡回丸栖北」下車すぐ

社会医療法人　三車会
貴志川リハビリテーション病院
〒640-0401　和歌山県紀の川市 貴志川町丸栖 1423-3
TEL　0736-64-0061 ／ FAX 0736-64-0063
〔HP〕 http://www.mikurumakai.or.jp

Notice
お知らせ

ことぶき教室



2020 年 2 月 6 日に紀の川市の「ことぶき教室」にて、「いつまでも自分の足で歩くために」をテーマに当法人理学療法士の美濃が講演しました。

フェイスブック
Facebook

三車会は Facebook ページを運営しています。
お気軽にフォロー＆いいね よろしくお願いします。

facebook facebook facebook facebook

貴志川リハビリテーション病院
赤ひげクリニック
たま整形外科
Acti-va

2020 年 4 月発行 / 広報誌みくるま通信　vol.24　春号

撮影者：リハビリテーション部　遠藤祐輝
撮影場所：白浜新庄総合公園
花：アリッサム

社会医療法人 三車会　広報誌

2020 春号 Vol.24

みくるま通信

Lineup
掲載内容

- 新院長紹介
- 新副院長紹介
- 新入職員紹介
- 春号特別企画
  「人となり」
- 互助会活動
- 寿教室

貴志川リハビリテーション病院
Hospital

新院長就任のお知らせ

2020 年 4 月より新院長として脳神経外科の亀井一郎医師が就任しました。



かめいいちろう
亀井 一郎　医師

診療科目：脳神経外科　認知症専門外来

所属学会：日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本脳神経外科認知症学会

経歴：1996 年　日本赤十字社　和歌山医療センター 脳神経外科部長
2009 年　医療法人スミヤ　角谷リハビリテーション病院 院長
2011 年　医療法人交詢医会 大阪リハビリテーション病院 院長
2016 年　大阪河﨑リハビリテーション大学 学長
2020 年 4 月～　貴志川リハビリテーション病院 院長就任

このたび貴志川リハビリテーション病院院長職を承りました亀井一郎と申します。私はこれまで長きにわたり、数々の脳神経外科手術、診療に携わってまいりました。また複数のリハビリテーション病院院長職やリハビリテーション大学の学長職に就き、リハビリテーション医療の大切さとその実効性を知りました。患者様と、リハビリテーション医療に携わる私たちが一丸となって疾患に取り組むことが症状の著しい改善に繋がるものと確信いたします。

私の座右の銘は「医の謙虚」と「日々之新」であります。当病院は、殿尾守弘理事長の指揮のもと種々のハード、ソフト両面を整えてまいりました。浅学菲才の身ではありますが、私も誠心誠意、地域の医療にまい進してゆきたいと考えております。どうぞ貴志川リハビリテーション病院にこれまで以上のご厚誼をたまわりますよう、よろしくお願いいたします。

2020 年版ご近所ドクター BOOK にて亀井新院長が紹介されました

急性期から在宅まで貫した医療を提供
リハビリテーションに
特化した病院として地域に貢献

4月から病院長に亀井一郎医師を迎え新体制がスタート！24時間体制の救急医療、回復期リハビリテーション病棟を備え赤ひげクリニック・たま整形外科、訪問リハビリ、アクティーバと様々な面から充実した医療・介護サービスを届けます。

日本一のリハビリテーション病院
を目指します！





HELLO! ご近所ドクター
社会医療法人三車会貴志川リハビリテーション病院
亀井一郎 病院長
乙女座・O型／**座右の銘**●「医の謙虚」患者さんのために徹底して勉強すること「日々之新」毎日新しく改革していかなければならない／**特技**●歌唱。カラオケ大会で98点を出して優勝しました／**趣味**●食材の買い物と料理、旅行も視野に入れたい

4月から新院長を迎え新しい体制がスタート

1998年、整形外科診療所からスタートした社会医療法人・三車会（みくるまかい）。長年、病院長兼理事長として貴志川リハビリテーション病院を取りまとめ、地域医療を支えてきた殿尾院長からバトンを受け継ぐのは、脳神経外科医の亀井一郎医師。「亀井新院長は殿尾院長の『支えてくれた故郷に恩返しをしたい』という思いと、さらに私が取り組んできたことを取り入れ、新しい体制で地域貢献をしたい」と意気込みます。殿尾院長は、三車会理事長の職はそのままに、さらに地域医療・介護の分野で患者さんや高齢者の健康や生活を支えるため、法人全体を導きます。

亀井新院長の思い

脳神経外科が専門で、最近は、認知症にも関心が高く、日本脳神経外科認知症学会の顧問も務めている亀井新院長。「リハビリ」「認知症」「予防医学」の3つに尽力していくことを目標に掲げ、夢は「貴志川リハビリテーション病院を日本一のリハビリセンターにすること」と力強い言葉でリーダーシップを発揮します。「"年だから仕方ない"と思わずに気軽に来院してほしい」との思いから、【認知障害リハビリセンター】を開設します。柔軟な発想と行動力で、時代のニーズに対応したサービスを取り入れた、より使い勝手の良い病院が誕生しそうです。また、予防医学の面では、「講演会など声がかかればどこでも行きますよ」とフットワークの軽さも亀井新院長のチャームポイント。優しい笑顔と軽快な語り口は、患者さんだけでなく周りの人を明るい気持ちにしてくれます。

3つの医療機関が連携し、医療と介護を地域に提供

患者さんとの信頼関係を築きながら「攻めのリハビリテーション」をモットーとする三車会リハビリテーション部には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が約100名在籍。定期的に実技指導などの研修を行いながら患者さんによりよいリハビリを提供できるよう努めています。また、桃山町にある在宅総合ケアセンター「赤ひげクリニック」、貴志川町にある「たま整形外科」を開院。3つの医療機関が連携することで患者さんにとってベストな環境を提供。さらには、訪問リハビリテーション、ショートステイ・デイサービス「Acti-va（アクティーバ）」とも連携しながらこれからも充実した医療と介護を届けます。

紹介

新副院長就任のお知らせ

2020 年 4 月より新副院長として谷口泰徳医師が就任しました。



たにぐち やすのり
谷口泰徳　医師

専門分野：手・足疾患の治療、末梢神経の手術、顕微鏡による微小外科手術、四肢の形成再建外科手術

資格：医師臨床研修指導医、日本手外科学会認定手外科専門医、日本整形外科学会認定整形外科専門医、整形外科研修指導医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医、義肢装具等適合判定医 、日本ベストドクターズ選出

経歴：1983 年　和歌山県立医科大学卒業
2000 年　和歌山県立医科大学整形外科　講師
2001 年　日本整形外科学会より米国整形外科学会に研修のため派遣
2004 年　近畿大学医学部形成外科　非常勤講師
2007 年　和歌山県立医科大学整形外科　准教授
2012 年　和歌山県立医科大学整形外科　教授
2015 年　有田市立病院　副院長
2016 年　和歌山県立医科大学整形外科　臨床教授

担当診察日

整形外科
水曜日　午前・午後

手足専門外来 (予約制)
木曜日　午後

4月より貴志川リハビリテーション病院の副院長に就任しました谷口泰徳です。「手•足の専門外来」を開設し、手•足の病気、外傷、神経障害、スポーツ傷害などに専門的な治療を行います。手•足の痛み、変形、キズ、シビレなどの症状でお困りの方は、「手•足の専門外来」にお越し下さい。今後は地域医療への貢献と症状に応じた専門的な質の高い治療、ケアを提供し、患者さんの手•足の悩みの解決に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

本年度新入職員紹介

皆様へ多くの笑顔を提供できるよう頑張ります！

本年度も多数の新入職員が入職しました。
紀の川市の中核病院としてのリハビリテーションを充実させていけるようスタッフ一同、日々精進してまいります！



Acti-va1 名



リハビリテーション部 12 名



看護部 5 名



事務部 2 名

【みくるま通信特別企画】

法人職員の 人となり

患者様・利用者様が普段接している職員は、どんな想いやこだわりを持っているのか、どのような人間性なのか、知っていただきたく企画しました。





リハショートステイ・リハデイサービス Acti-va（アクティーバ）
副主任　介護福祉士
加納世子

介護の仕事についたきっかけは何ですか？

介護の仕事についたきっかけは、たまたまです。

私は、高校を卒業して外での仕事、具体的に言うと土木関係の仕事をしていました。自分では何の問題もなく2年程仕事していました。ただ、両親から土木関係の仕事に関してクレームがつきました。

私は4人兄妹の末っ子で上3人は男ばっかりで初めての女の子でした。親としては女性らしい仕事について欲しかったんだと思います。笑

親の意見を聞き入れて、土木関係の仕事を辞めて、他の仕事を始めたんですけど3年程やりがいのある仕事に巡り合えず、転々としました。たまたま兄が介護の仕事についていて、少し興味があって、そして私はおばあちゃん子だったので、お年寄りの方と関わる仕事もいいなと思ったのがきっかけです。

介護の仕事に就いたばかりの頃は、驚きの連続でした。話には聞いていましたが、車いすの方だったり、杖をついている方だったり、実際に目にして驚きしかなかったです。ただ、高齢の方と接する事で、多くの事を学ばせていただけるなあ！と思ってここまで仕事を続けてます。笑

介護職として利用者様に接する際、心掛けていることはありますか？

最初は、利用者さんと関わる時に、これといって目的とか心掛けている事とかはなかったです。でも、「看取り」いわゆるターミナルケアを経験させていただいてから変わりましたね。

日々こなしてきたケアが、当たり前のことではないんやと思えるようになりました。この施設で働かなかったら、この方とは出会わなかったんやな。介護の現場では、自分を選んでくれたと言うんですけど、経験がない自分で本当に良かったんかな？　もっと適切に対応してくれる介護職もおったんやないかな？という今まで感じたことのない感情と同時に、初めて看取りを経験させていただいて、その利用者さんに対して「ありがとう」という感謝の気持ちとか、色々な思いが湧き出てきました。

看取りを経験したことで、私は介護に対する考え方が変わったなと思いますね。一日一日、何が起こるか分からない中、利用者さんがかけてきた言葉を、忙しい中、無視したりしたら絶対あかんよね！って。自分自身も後悔が無いように利用者さんと接しないとあかんよね！って思うようになりました。この仕事につかなければ出会うことのなかった人に出会って、何年も先輩で、いくら利用者さんが認知症であったとしても言葉の端々で考えさせられたり学ばせてもらうことも多くて。そういう利用者さんの家族でもないのに最期の場に立ち会わせていただく・・・本当に介護福祉士の仕事ってすごいなと思います。

Acti-vaにきたきっかけは、なんですか？

Acti-vaの前の職場で、介護の仕事が嫌になったわけではないんですが、一旦介護の仕事から離れてみたいと思うようになって辞めたんです。でも、目的を持って辞めたわけではなかったのでいざ他の仕事を探しましたけど、これという仕事は見つからなかったです。

「やはり私の仕事は介護か！」という気持ちに傾いてきました。笑

ただ、次は「看取り」ではなくてお年寄りが「元気になる介護」を体験してみたいと思いました。ちょうどそういう時、この近くを散歩していたら、何か大きな建物（Acti-va）を建築中で、道沿いに立っていたでっかい看板に「攻めのリハビリ」と書いてあったんですね。笑

攻めのリハビリって何するんやろ？　リハビリで本当に利用者さんが元気になるんやろか？　この施設には介護職って必要なんやろか？

その大きな看板は、私にすごく興味をいだかせてくださいました。笑

WAYに置いてあったフリーペーパーでActi-vaの募集広告を見つけて応募しました。笑

趣味もしくは特技は何ですか？

身体を動かすことは好きです。ジムとかも通ってます。

改めて趣味と聞かれて、ストレス発散で行っているカラオケもそうやなと思いました。カラオケに行ったら7時間ほどずっと歌ってます。笑

ストレス発散といいながら7時間も歌い続けるのはやはりカラオケが好きなんでしょうね。笑

あと、車も好きです。かっこいい車が好きです。私は電車に乗るのが苦手で、車でどこでもいきますね。

いつかディズニーランドまで車で行ってみたいと思ってます。笑

Acti-vaで介護職に携わって、将来の夢ややりたいことは？

開設時Acti-vaのショートステイに集まった介護職は、若い一人の職員を除いて何かしらの経験を積んできたスタッフばかりで、いい意味で強者揃いですね。笑　何かが起こっても「どうしよう？」ではなく、誰かが、「こういう時、前はこうしてたよ。」と意見がパンパンパンと出てくるといった感じです。その意見を他の人は、否定するんではなく、ヒントにして更に意見が出てきます。ある意味個性も強いですけど一つにまとまった時は非常に強いですね。笑

利用者さんには、卒業するにしても施設に入られるにしても、ここで頑張ってきたリハビリや日常生活の維持に励んできたことを終わりにしてほしくないと思っています。次のステージでも利用者さんが出来ることを続けられるよう頑張ってもらいたいし、そういう橋渡しができる介護を今いるメンバーで目指していきたいと思っています。

加納世子さんはこんな人

Acti-va 施設長
兼　ナーシングケア事業室長　西山登志子

加納さんの魅力は、外観はクールそうだけど温かい、勝気そうだけど内気と、こういった外観と内面のギャップが、加納さんが人を引き付ける魅力だと思います。
日常では、料理好きでお弁当の詰め方が既製品のように美しく、趣味では継続している筋トレで、シックスパックを目指し自転車とダンベルで頑張っているそうです。
仕事では、まず〝利用者さんに対してどうすればいいケアを提供できるか〝を常に考えながら、またスタッフに対しても気遣いながら仕事に携わっています。副主任の資質としての、信頼・思いやり・安定・希望を与えてくれる力を備えているからこそスタッフを牽引できていると思います。自分の資質を知り，更なるリーダーシップ力を発揮してもらいたいと期待しています。

Acti-va 介護福祉士　前田由加

彼女とは私が入社してからの付き合いになります。学ぶことが多く介護に対する考え方、豊富な知識、利用者さんを見る視点の良さは一緒に仕事をしていて楽しく、再度介護について考えさせてもらいました。
何より利用者さんの心を掴むのがうまく、本気で話し合い傾聴する熱い姿勢は伝わるのでしょうね。利用者さんからの信頼も厚いです。その熱い姿勢は仕事にも反映され、副主任としてリーダーシップを発揮し問題点へは注意深く考慮しながら指導をし、私達の事もちゃんと評価して導いてくれるリーダーです。
こんなしっかり者の弱点は虫。虫を見つけると誰かを盾にしてまで走って逃げまわり自分の身の回りは虫除けが欠かせないのですが、唯一強気に立ち向えるのは蚊（笑）　人のおでこであろうと腕であろうと構わず退治してくれるので油断していると、どこからともなく手が飛んできて得意げに退治した蚊を笑顔でどうだ!と言わんばかりに見せてくれるので怒るに怒れずいつも褒めている始末です。

ナーシングケア事業室　副主任　尾阪妃佐子

加納さんと初めて出会ったときの印象は、クールでとっつきにくい人だなと思いました。しかし、共に仕事をする中で困って助けてほしい!と思ったとき、絶妙なタイミングで「どうした?」と声をかけてくれることが何度かありました。周りを見る洞察力のある人と知りました。はっきりと物事を言い、人を引きつけ、皆をまとめ、頼りになる魅力的な人です。誰に対しても真剣に向き合う姿を見ると、初心に戻る思いになります。
料理が上手で、きれい好きで、お酒が大好きと聞きます。冷蔵庫を開け、ビールが転がってきて足をひねる（笑）や読書中はテレビがついていないと嫌という寂しがり屋な一面もあります。
そんな加納さんと一緒に仕事ができ、嬉しく思います。

Acti-va 理学療法士　植田真由美

加納さんの第一印象は男前な方で、近寄りがたくみえ、仲良くなれるかな?という印象でした。
しかし、仕事の話、プライベートの話をするうちに、話しやすく、また笑顔が素敵な方だという事が働いていくうちに知ることが出来ました。
仕事面ではみんなを引っ張ってくれる頼れるお姉さんです。利用者さんの事を第一に考え、「どうしたらこの人は良くなるだろう?」と常に考えてくれています。同時に、職員の背中を押してくれる存在であります。私も、加納さんのように後輩の後押しを出来るようになりたいです。
また、ここだけの話プライベート面では、意外に、都市伝説を信じているかわいい所もあります。（笑）



